

# 「久志っ子人権宣言」前文

わたしたちは、総合的な学習の時間を通して、人権が守られているとは言えないことがあると知りました。

いじめや差別を受けている人が少しでも減ってほしい。

全ての人の人権が守られる世界になってほしい。

まずは、自分たちの学校から。そして、わたしたちが卒業しても、上級生から下級生へ人権を守ることを伝えていってほしいという願いをこめて、この「久志っ子人権宣言」を作成しました。

この「久志っ子人権宣言」をたくさんの人々に伝えたいと思ったのは、学習を進めていく中で、様々な人権課題がなくなる現実を知り、自分たちが「久志っ子人権宣言」を発信することで一人でも心を助けたいと思ったからです。そして、わたしたちが学習の中で人権課題に向き合ったときの怒りや苦しみを学校から、奄美へ、世界へと、伝えたいという思いがあるからです。

「久志っ子人権宣言」がたくさんの人に理解され、人権の輪が広がっていくために、自分たちでポスターを作成しました。そのポスターには、「みんなとちがっても大丈夫だよ」というメッセージを込めて、自然のなかで個性あふれるたくさんの人や動物、生き物が笑って手をつなぐ絵をかきました。

わたしたちの学びと真心がつまった「久志っ子人権宣言」です。

誰もが自分らしく笑顔で生きる、差別や偏見のない世界を、未来を生きるわたしたちが創造したい。

奄美、日本、そして世界のたくさんの人々に、わたしたちの思いが届きますように。

令和3年6月8日

宇検村立久志小学校

6年生 一同